

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動内容によって、仕切りを立てたり運動スペースと療育ルームで人数を分けるなどくふうして活動している
	② 職員の配置数は適切であるか	○			利用人数に合わせ、その都度指導職員を配置している。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		建物構造上、大人用になってしまっている箇所がある。洗面所の手洗い場やトイレはステップ台や補助便座を利用して対応している。
業務改善	④ 業務改善を進めるためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々、振り返りを行っている。会議を行い、子どもの支援や業務などについて話し合いを行っている。
	⑤ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			昨年度実施し、現在も正面玄関（保護者の目に入る場所）に掲示している。
	⑥ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			配布するほか、保護者様の目がつくところに掲示をしている。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	行っていない。今後、検討する。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部の研修に幅広く参加し、事業所内で研修の共有を行っている。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			利用開始前に行い、課題等を把握し計画につなげている。家庭からの情報を基に支援計画を作成している。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			児童発達支援管理責任者が行っている。今後も丁寧にアセスメントを行い、支援計画を作成していく。
	⑪ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設置されているか	○			決まったアセスメントのフォーマットを使用し、児童発達支援管理責任者が行っている。
	⑫ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			児童発達支援管理責任者を中心に計画を立てて指導員で協力し合い行っている。
	⑬ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当クラスに分けて行っている。
	⑭ 活動プログラムの立案が固定化しないよう工夫しているか	○			週単位で考え、固定化しないようにしている。
	⑮ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○			粗大、微細活動を工夫して1人1人に応じた支援計画を作成している。

	⑯	支援開始名には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝打ち合わせをして、その日の予定に確認をしている。
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打つ合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			週に2回必ず行い、クラスごとに子どもたちの成長の変化や今後の課題など細かい部分を全員で共有している。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか	○			毎日支援日誌を付けて記録を取り、支援の検証・改善につなげている。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にそれぞれモニタリングを行い、計画を見直すなど検討している。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者が参加し、会議を行っている。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			必要に応じて支援センターや幼稚園、保育園と連携をとり、情報共有し支援を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	対象のお子さまがいない。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	対象のお子さまがいない。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			情報共有が必要な子については、連携を図っている。
	㉕	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			本年度より卒園児がいるため、児童発達支援管理責任より、教育委員会へや各学校へ連絡をしているが、今後はより連携強化をしていきたい。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			管理者が情報共有をするなど連携をしているが、まだ十分ではないと感じている。他事業所と連携を深めるために、研修などにも積極的に参加をしていきたい。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			主に年中・長、保育園・幼稚園に訪問し、活動を一緒に行い交流を図っている。
	㉘	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育てで会議等へ積極的に参加しているか	○			担当者が令和6年12月に参加している。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳だけでなく、送迎時に対面でぶりえでの様子やお家での様子を聞き共有している。
		㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○	

保護者への説明責任等	③①	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			児童発達支援管理責任が契約の際に説明を行っている。
	③②	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			児童発達支援ガイドラインに基づき、支援計画と説明を児童発達支援管理責任が行っている。
	チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	③③	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者さんから相談があった際は、適宜すぐに対応している。その際はきちんと時間をとり、じっくり相談内容を聞き、助言や対応方法等を話し合っている。
	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		イベント等で保護者さん同士が交流できる機会があるが、事業所でさらに関われる環境設定をしていくことが課題である。
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			直接会うことが難しい場合は、電話でお話をしたり、内容によってはコミュニケーションツールを活用したりして迅速に対応できるよう心がけている。
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、ぶりえだよりを発行し、子供達の様子を写真にして載せたり、行事予定などを発信している。
	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報の載った書類等は事業所内から不必要に出さないように注意している。
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳への記載や分かりやすく説明するなど配慮している。
③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	感染症等も考慮して、積極的には行っていない。今度は様子を見て検討したい。	
非常時の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			大まかなフローの確認は職員間でできているが、きちんとしたマニュアルは作成途中である。今後も早く作成して周知していく必要がある。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			非常災害の発生に備え、火事や地震、不審者が侵入してきた際等、様々なことを想定して訓練の計画を実施している。
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			契約の際のアセスメント時に、児童発達支援管理責任が病歴等細かい部分を確認している。
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アセスメント時に確認をしている。
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所独自に作成して随時共有している。また今後起きないために改善方法も検討し注意している。
④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			県の研修以外に、導入しているシステムでの虐待防止や身体拘束禁止についての研修を行い、職員間で共通認識を持っている。	